

# KiKiの広場

2013年 10月 1日

cafe NO.36  
KiKi



4年目を迎えた cafe KiKi から、改めてお知らせとお願いです。

オープン以来、「気軽にコーヒーや飲み物を楽しんでいただきたい。」をモットーに、この3年間コーヒー豆等の原材料の仕入れ価格高騰にも関わらず、価格据え置きで頑張ってきましたが、この度やむなく全てのメニューについて、10月より一律50円アップの価格改定をさせていただくことになりました。

ケーキセットについては、これまで同様ケーキと飲み物の合計の50円引きですが、セット価格としては100円アップとなります。またドリンクチケットにつきましては、価格改定に伴い7月にて販売は中止しておりますが、期限はありませんので引き続きご使用ください。(※ただし申し訳ありませんが、350円の飲み物の場合、チケット1枚につきプラス50円いただきます。)

みなさまには、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきまして今後ともどうぞよろしくお願い致します。

また、夏季限定メニューだった「マンゴージュース…400円」は、お客さまのご要望によりメニューに加えることになりました。引き続き濃厚なマンゴの味わいをお楽しみください。



## 「今月のケーキ」…「フィン風カスタードスフレ」350円

カスタードクリームとメレンゲをあわせたバニラビーンズ入りの滑らかなスフレ生地に、ミルク風味クリームをたっぷりのおせ、チョコレートソースで仕上げました。ピターなキャラメルソースがきいた甘味を抑えたスイーツです。

## 今月のお気に入り…「日本の昔ばなし」

～ 「うまかたやまんぼ」「くわすにょうぼう」「ふしぎなたいこ」「かじかびょうぶ」「こぶしいさま」 などなど ～



「うまかたやまんぼ」は、小澤俊夫さんと赤羽末吉さんコンビの絵本の中の1つです。口で語り耳で聞いて長く伝えられてきた昔ばなしは、絵本にすると想像する楽しさを奪われて台無しになってしまうことが多々ありますが、小澤さんの語り口と赤羽さんの挿絵はお互いのバランスが素晴らしく、昔ばなしの面白さを存分に味わえます。結構というかかなり怖いお話ですが、はらはらどきどきしながらもぐいぐい引き込まれていきます。最後に「こんで えんつこ もんつこ さけた」と結びの言葉があります。地方によって「いちごさかえた なべのした がりがり」や「とっぴんぱらりのふう」などいろいろな言い方があって、個性豊かな結び句も楽しんでください。



## 今月の本棚…「芸術の秋を楽しもう！」

～ 「ぶどう酒びんのふしぎな旅」「あかいふうせん」「終わらない夜」「ZOOM」「ちいさな1」「木をかこう」 などなど ～



今月は芸術の秋にちなんで、「アートな絵本」を集めてみました。影絵界の第一人者、藤城清治さんの「ぶどう酒びんのふしぎな旅」は、現在89歳の藤城さんが26歳の時に初めて手掛けた絵本で、モノクロで作ったものを60年経った86歳の時、改めてカラーで作直されたものです。自分の原点はアンデルセン童話だと言われており、中でも一番好きな「びんの首」というお話を初めて作る絵本に選ばれたそうです。ワインボトルとして生まれたびんが、いろいろな人と出会いながら時間をかけて旅をし、数奇な運命をたどっていくというお話に、藤城さんの光と影で描かれる繊細な影絵が見事にマッチして、人生の素晴らしさ美しさ、喜びと悲しみが心に迫ってくるようです。

イエラ・マリの「あかいふうせん」は、字のない絵本です。白地に黒の線画の中に、色は赤のみ。最初はあかいふうせんとして現れますが、ページをめくるごとに形を変えていきます。児童文学者の渡辺茂男さんは、「何回見ても、息をのむほど新鮮で、ため息のするほどあかぬけた心はずむ傑作です。」とコメントされています。ふうせんがどんな風に変化していくか、鮮やかな赤と共に楽しみください。

